

News Release

平成 29 年 5 月 26 日

株式会社 長 大

ベトナム国クアンニン省にわが国の高度な技術・ノウハウ輸出

旭川市とクアンニン省の都市間連携を推進し、環境・農業分野の事業展開を開始

地域創生を通じた地域開発実現に向け覚書を締結

ものづくり技術や農業加工技術を有する旭川地域企業のベトナム国進出・事業拡大に貢献

株式会社長大（東証二部上場、証券コード 9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」）は、以下の 3 件の覚書に調印しました。

(1) バイオトイレ及び新浄化装置の現地製造に向けた連携体制の構築

当社は、正和電工株式会社（橘井 敏弘・代表取締役社長。以下「正和電工」）と共に、ベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム国」）ハノイ市に拠点を置く ENVIRONMENT & EQUIPMENT TECHNICAL CORPORATION（以下「Envitech 社」）及びクアンニン省に拠点を置く Industrial Supplies and Spare Part Co., Ltd of Vietnam（以下「VIPS 社」）らと、バイオトイレ及び新浄化装置¹の現地製造に向けた連携体制の構築を進めることに合意しました。

(2) 農業コンソーシアムの設立

当社、株式会社表鉄工所（表 実・代表取締役。以下「表鉄工所」）、グリーンテックス株式会社（佐藤 一彦・代表取締役。以下「グリーンテックス」）、農業生産法人株式会社谷口農場（谷口 威裕・代表取締役社長。以下「谷口農場」）、株式会社エフ・イー（佐々木 通彦・代表取締役社長。以下「エフ・イー」）、VinEco Agricultural Investment, Development and Productions LLC.（以下「Vineco」）、Viet Long Investment and Construction JSC（以下「Viet Long」）、Song Hanh Quang Ninh JSC（以下「Song Hanh」という。）及び Hoa Phong High Quality Agriculture Service Cooperative（以下「Hoa Phong」）は、クアンニン省をはじめベトナム国において課題となっている農作物の付加価値化を実現する農業生産技術及び加工技術の向上を目的に、日本国企業が有する高品質な製品・技術・サービス及びノウハウの適用、導入、普及及びその事業化を推進するため農

¹ バイオトイレはし尿を処理し、新浄化装置はし尿以外の生活雑排水を処理する装置。バイオトイレと新浄化装置を総称して分散型排水処理システムと呼びます。

業コンソーシアムを設立することに合意しました。

(3) クアンニン省における旭川地域企業の海外事業展開支援に向けた連携協力

当社と旭川商工会議所（新谷 龍一郎・会頭）は、旭川市域における産業の振興・発展を図ることを目指し、旭川地域企業が有する製品・技術・サービス並びにノウハウを、 ベトナム国クアンニン省への導入を通じ、旭川地域企業の海外展開を推進し、もってクアンニン省の発展に貢献することを目的に相互に連携・協力することに合意しました。

5月11日並びに12日に北海道・旭川市で執り行われた調印式には、当社の永治泰司・代表取締役社長、井戸昭典・取締役常務執行役員事業推進本部長、旭川市内企業及びベトナム国企業の代表者に加えて、立会人としてクアンニン省人民委員会 Dang Huy Hau 委員長代理も出席、覚書に調印いたしました。

一連の覚書調印は、正和電工が独立行政法人国際協力機構（北岡 伸一・理事長、以下「JICA」）より受託した2014年度補正予算中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～（以下「本事業²⁾」の一環で、現地カウンターパート機関であるベトナム国クアンニン省人民委員会幹部及び民間企業代表ら22名を招へいしたことにより実現しました³⁾。さらに、招へい期間中には、旭川市、旭川商工会議所並びにクアンニン省人民委員会との間で、「農業及び産業における技術協力の覚書」も締結するなど、旭川市とクアンニン省との行政間での経済交流並びに人的交流を深化させるために、当社が橋渡し役を担っています。

クアンニン省は、世界自然遺産ハロン湾及び国立公園バイトゥーロン湾といったベトナム国にとり極めて重要な観光資源を有しています。しかし、沿岸地域の急速な開発による生活排水の増加や観光船からのし尿の垂れ流しにより湾内の富栄養化が進み、水質汚濁をはじめとした環境破壊が顕在化しつつあり、観光産業への影響が懸念されています。さらに、クアンニン省には年間7百～8百万人の観光客が訪れていますが、これら観光客が望むような安心・安全な農産物の提供はできていません。こうした状況を踏まえ、クアンニン省人民委員会は「グリーン成長戦略」を定め、クアンニン省の持続的な発展を実現するために、本邦企業が有する製品・技術・サービスの積極的な導入を進めているところです。

旭川市は、「旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、魅力ある持続可能な拠点都市を形成するために、地元企業の海外進出や販路拡大の促進、新たな分野に挑戦する地元企業や農業者の育成などを積極的に推進しています。クアンニン省との地域連携は日本国政府が掲げる質の高いインフラ輸出や地方創生の流れに沿い、官民一体となって高度な技術・製品・ノウハウを輸出する取り組みの一環となります。

当社では両地域の上記方針を受け、クアンニン省での分散型排水処理システムの普及の

²⁾ 当社は外部人材として参画し、正和電工が有するバイオトイレ及び新浄化装置の普及に向けた資金調達計画及び普及・啓発活動を担当しています。

³⁾ 5月10日から5月19日までの間招へいし、旭川市並びに旭川商工会議所への表敬訪問、旭川地域企業との懇談、現地視察及び技術指導などを実施した。

みならず、土壌診断技術を活用した環境配慮型農業事業、一次加工及び二次加工技術を適用したフード・バリューチェーン構築事業、地域資源（農産物・海産物・観光資源）を活用した農業テーマパークの整備事業、さらにこれら地域バリューチェーンの帰結点としての観光・卸売市場の整備を目指しています。また、廃棄物処理分野では、環境省の支援の下、医療廃棄物の適正処理と管理システムの構築を目指した事業の展開も進めています。

今後は、旭川市が持つ豊富なノウハウを生かしながら、今回覚書を締結した旭川商工会議所や旭川地域企業など、技術やノウハウを持つ民間企業らと共に、地域開発に資する事業活動を展開する予定です。

このように当社では、日本国政府が掲げる質の高いインフラ輸出に沿い、日本からの技術・ノウハウ・製品・資金を可能な限り導入しながら、ベトナム国クアンニン省の経済開発に強く貢献したいと考えています。また、一連の事業活動の中で、旭川地域企業の事業領域拡大を通して日本の地方創生にも貢献して行きます。

■ お問い合わせ 本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

<p>内田 篤志（うちだ・あつし） 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部担当部長 電子メール： uchida-a@chodai.co.jp 電話： 03-6867-8055</p>	<p>澤田 義麿（さわだ・よしまろ） 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部主任 電子メール： sawada-yo@chodai.co.jp 電話： 03-6867-8055</p>
--	--

参考資料：

1. 当社がクアンニン省において旭川地域企業と連携して進める各プロジェクト

【凡例】
 事業名
 ①事業概要
 ②当社の関与
 ③現地パートナー
 ④これまでの取組

☀️：旭川市内企業が関与する事業

ハロン市場をコアとした地域バリューチェーンの構築

☀️ **環境保全型農業事業**

①グリーンテックス社の土壌診断・土壌改良剤の販売
 ②事業化支援・土壌改良剤のベトナム国内の独占販売ライセンスの取得⇒生産物をハロン市場へ
 ③Viet Long社
 ④現地での栽培試験による効果は確認済み、JICA案件化調査応募

▲予冷・冷蔵貯蔵設備 ▲現地市場

☀️ **フード・バリューチェーン構築事業**

①表鉄工所、谷口農場社、エフイー社など複数の日系企業の製品・技術を活用した農産物の付加価値化
 ②事業化支援・資機材のベトナム国内の独占販売ライセンスの取得⇒加工品をハロン市場へ
 ③VinEco社
 ④「平成28年度食のインフラ輸出に向けた招へい・専門家派遣事業」(農林水産省)を受注し、クアンニン省行政職員らを日本へ招聘。

▲覚書調印式 (2015年11月) ▲試験栽培 (2016年11月～2017年2月)
 ▲当社表敬訪問 (2017年1月)

☀️ **医療廃棄物処理事業**

①キンセイ産業の焼却炉の導入とアンピエンテ丸大の医療廃棄物管理ノウハウの適用
 ②SPCへの出資・事業運営モニタリング、環境モニタリング
 ③PETECH社、VietLong社
 ④環境省Pre-F/S受注

▲焼却炉 ▲分別

☀️ **水環境改善事業**

①バイオトイレ・新浄化装置を活用した分散型排水処理システムの導入
 ②資機材の販売・維持管理支援
 ③Envitech社、VIPS社
 ④2014年度 JICA普及・実証事業採択、現在実施中

▲覚書調印式 (2015年11月) ▲導入したバイオトイレ (2016年08月)

☀️ **(情報収集中) 廃棄物処理事業**

・日系廃棄物処理事業者と現地企業との協業による廃棄物処理
 ・現在プレFS調査段階

▲収集・運搬 ▲オープンダンピング

☀️ **(情報収集中) 環境配慮型養殖技術の普及**

・ヴァンドン島は真珠の養殖業が盛んであり、複数の日系企業が事業を実施中であるものの、養殖池の水質汚染が顕在化。
 ・現在情報収集中。

▲養殖池 ▲選別

クアンニン地区

2. バイオトイレ及び新浄化装置の現地製造に向けた連携体制の構築

(画像データは別途ご提供いたします)



3. 農業コンソーシアムの設立



【左から、Hoa Phong/Tha 代表、Song Hanh/Hoan 副社長、Viet Long/Thang 社長、表鉄工所/表会長、グリーンテックス/佐藤代表取締役、谷口農場/谷口社長、エフ・イー/佐々木社長、長大/永冶社長】

4. クアンニン省における旭川地域企業の海外事業展開支援に向けた連携協力



【左から、長大/永冶社長、旭川商工会議所/松野副会頭】

5. 現地パートナー企業の事業概要

社名	概要及び役割
VinEco 社	<p>国営企業ビン・グループの農業生産法人。ベトナム国内のハイテク農業パークなどの整備・運営を進めている。生産された農作物は国内のスーパーマーケットのみならず海外への輸出も視野に入れている。</p> <p>本社：ハノイ市</p>
Viet Long 社	<p>建設業を生業としているものの、新事業として農業分野に進出した。安心・安全な農作物の生産を実現するために、日系企業が有する栽培技術の導入を積極的に進めている。グリーンテックス株式会社と共同で栽培試験を実施中。</p> <p>本社：クアンニン省ハロン市</p>
Song Hanh 社	<p>水耕栽培など先進的農業技術の導入を積極的に進めている。生産された農産物はクアンニン省内の小規模マーケットなどに供給されている。</p> <p>本社：クアンニン省クアンイエン地区</p>
Hoa Phong 社	<p>100以上の農家が集まって設立された農業協同組合。生産された農産物の加工を通じて、加工度合を高めた生産物をクアンニン省内のホテルなどに供給している。</p> <p>本社：クアンニン省ドンチヨ地区</p>

以上